

クローズアップ



水戸市本庁舎

片岡 潤

(Jun Kataoka)

株式会社 日立ビルシステム
東関東支社 昇降機部

建物外観

1. はじめに

2011年3月の東日本大震災により旧庁舎が被災したため、新庁舎は「安全で市民が快適に利用できる庁舎」をめざして建設され、2018年11月に開庁しました。

新庁舎は免震構造を採用し、非常用発電機や耐震性貯水槽などを設置、さらに1階の床レベルを周辺地盤より1.5m高く設定するなどし、総合防災拠点となる安全性が高い庁舎としています。

1階には、観光情報などを発信するスペースや市民と行政が協働、交流しながら様々な活動を行う空間として、多目的スペースを設置しています。また、誰もが安心して使うことができるように、ユニバーサルデザインの採用や、バリアフリー化を行い、市民に開かれた誰にでも使いやすい庁舎を目指しています。さらに、太陽光の発電、熱源設備への活用、井戸水や雨水の雑用水への利用などを行い、環境に配慮していることも特徴です。

2. 建物概要

所在地：茨城県水戸市中央一丁目4番1号

建築主：水戸市

設計・監理：久米・柴建築設計共同企業体

施工：大成・株木・昭和・コスモ・菅原特定建設
工事共同企業体

建物用途：市庁舎

敷地面積：20,876.29㎡

延床面積：40,942.54㎡

構造：鉄筋コンクリート造

階床数：地下1階、地上8階、塔屋1階

建屋高、軒高：33.12m

工期：2016年6月29日～2018年11月9日

竣工日：2018年11月

開庁日：2018年11月(全体オープンは2019年1月)

3. 昇降機設備

昇降機設備は、エレベーター6台、エスカレーター2台の合計8台が設置されています。

エレベーターは、建物の北側に3台、西側に3台ずつ設置されています。北側の3台は水戸駅方面を眺望できる展望用エレベーターとなっており、建物の外壁窓からエレベーターホールに自然光を取り入れられるように、エレベーターの戸には大型の窓を設置しています。また、即時予約機能付きの群管理運転を採用し、乗車するエレベーターが分かりやすい仕様となっています。

かご内意匠は、ステンレスパイプレーションを基調とした落ち着いた仕上げとしています。

エスカレーターは、トップライトからの自然光により開放的な空間となった建物中央の吹き抜けに設置されています。水平3枚ステップや、落下物防止フェンスを設置した仕様とし、利用者が安心して乗り降りできるよう配慮しています。

昇降機監視盤は庁舎1階の守衛室に設置され、エレベーターやエスカレーターの運行を一元管理しています。

クローズアップ



北側 エレベーター 8階乗場



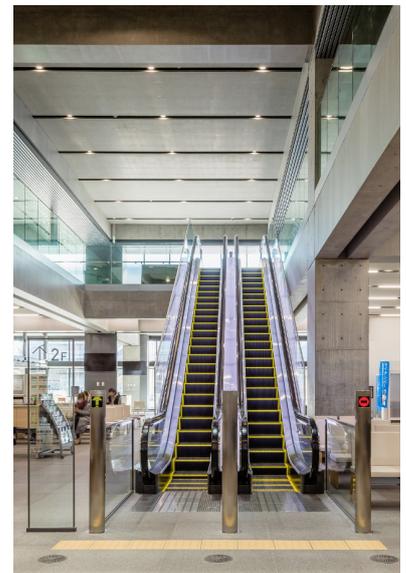
西側 エレベーター 6階乗場



北側 エレベーターかご内 (前)



北側 エレベーター乗場とかご内 (後)



エスカレーター

エレベーター仕様 (計 6 台)

バンク	号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
北側	N-01	乗用	インバーター	全自動群管理方式	1000	15	90	1	9 (B1, 1~8)	日立	車いす仕様
	N-02				1300	20		1			〃
	N-03				1600	24		1			10 (B1, 1~8, PH)
西側	W-04, 05	〃	〃	群乗合全自動方式	1000	15	90	2	7 (1~7)	日立	〃
	W-06	人荷用	〃	乗合全自動方式	1600	24	90	1	9 (B1, 1~8)		〃

エスカレーター仕様 (計 2 台)

号機	形式	欄干意匠	速度 (m/min)	サービス階	階高 (揚程) (mm)	台数 (台)	メーカー	備考
ESC1, 2	S600	透明ガラス	20, 30	1-2	5000	2	日立	運転速度 2 段切替